“戦争マシーン”の米海兵隊と市民は共存できません!!

米軍基地は縮小・撤去を



在沖米兵による殺人14件目

沖縄でまたも米兵による民間人殺人事件が起きました。10月4日、39歳の女性の殺害容疑で米軍普天間基地所属の海兵隊上等兵が逮捕されました。沖縄での米兵による民間人殺人事件は1972年の本土復帰以降14件目。13件が海兵隊員によるものです。

沖縄県での米兵による民間人殺害事件（本土復帰後）

※「しんぶん赤旗」10月5日付掲載

1972・8・2宜野湾市で女性を殺害
9・20●キャンプ・ハンセン内で基地従業員を射殺
12・1●沖縄市で女性を殺害
74・10・23●名護市で女性経営者を強盗・殺害
82・3・8●金武町で男性をブロックで殴打・殺害
7・31●名護市で女性を暴行・殺害
83・2・23●キャンプ・ハンセンでタクシー運転手を殺害
85・1・16●金武町で男性を刺殺
91・6・14●沖縄市で男性を殺害
6・20●沖縄市でインド人男性を殺害
93・4・12●金武町で男性を殺害
95・5・10●宜野湾市で女性を殺害
2016・4・28●うるま市で女性を暴行・殺害
19・4・13●北谷町で交際していた女性を殺害し、自殺
26・10・3●那覇市で女性を強盗・殺害
●は海兵隊員または元海兵隊員による犯行

沖縄・本土復帰前の米軍関係事故

	死亡	傷害
1945・8・15～52・4・27	574	630
52・4・28～72・5・14	222	560
総計	796	1190

（沖縄県資料から）

凶暴な兵士と市民生活は共存できない

沖縄には、いまも全国の米軍基地の7割が集中しています。1984年から今年5月までの在日米軍による刑法犯4988件の49％が沖縄で起きています。在沖米軍の中心の海兵隊は、「殺せ、殺せ、殺せ」と叫び、隊員を殺人マシーンにする訓練を日夜行っています。これと普通の市民生活の両立は困難だと米海兵隊司令官も告白しています。

米軍犯罪の温床 日米地位協定の抜本改定を

米兵取り締まり困難にする地位協定

しかも、日米地位協定と裁判権放棄の日米密約で、できるだけ米兵犯罪を裁かない約束が交わされ、米兵犯罪の8割が不起訴になっています。犯罪を犯した米兵が基地に逃げ込めば、身柄は米軍が優先的に管理します。

海兵隊をはじめ、米軍基地の縮小・撤去、屈辱的な日米地位協定の抜本改定こそ、米兵犯罪・米軍被害を根絶する解決策です。ましてや、名護市・辺野古への新米軍基地建設など、もっての外です。その声を全国で広げましょう。



辺野古新基地建設工事の中止と
普天間基地撤去を求める署名にあなたも！



日本平和委員会 2026年11月発行
一人ひとりの平和の願いをもとに行動する平和NGOです
「平和新聞」（月2回刊）、「平和運動」（月間）発行中
http://j-peace.org/ ⓧⓕ